

平成24年(2012年)3月12日 (月曜日)

ツアーぜひ継続を

GW三島が復興シンポ

「今後の支援」で討論

NPO法人グラウンドワーク三島は11日、三島市社会福祉会館で東北復興シンポジウム「思いを絆に 真の支援を考える」を開いた。被災地を代表して、石巻専修大の李東勲准教授ら4人が参加し、「今後の支援のあり方」についてパネリストがディスカッションした。

震災発生から1年を契機に「いまわたしたちにできることは何か」について、被災地の現状報告を基に考えるのが目的。コーディネーターを同

NPOの渡辺豊博事務局「石巻開北FCファンタジスタの監督と、いわき市教授のほか石巻少年少女合唱隊代表、サッカーの植田東中教諭が務めた。



被災地からパネリスト4人が参加し、求められる支援について意見を交わした＝三島市社会福祉会館

パネリストからは「ツアーのような支援をぜひ継続してほしい」、「(市民にも)現場に足を運び、現状を地域に伝えてほしい」といった意見が出た。渡辺事務局長は「1年やって何となく要領がつかめた。今後もじっくり長く、的確適切な支援を続けたい」と述べた。